

1 目的

本町では、アイヌ文化の復興・発展の拠点となるウポポイの開設に伴い、アイヌ文化の誇るべき価値や魅力を町内外に発信するとともに、地域活性化へ繋げる絶好機と捉え、町内への来訪者数 300 万人の達成を図りつつ、地域経済の活性化と雇用創出に繋げ自主的な「稼ぐ力」を創出することを地方創生として目指す将来像としている。

令和2年度以降においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく各所において事業展開に制限が生じたことにより、来訪者を急増させるに至らなかったことから、今年度においてもコロナ禍からの巻き返しとして、多くの来訪者に来町いただきアイヌ文化の理解促進と観光誘客を図ることで、地域経済の回復にも寄与することを目的としている。

については、本業務はウポポイ及び本町のアイヌ民族の歴史・文化と地域資源のPRなど観光活性化を実施することにより、アイヌの人々が誇りを持ち生活をすることができ、その誇りが尊重される社会の実現を図るものであり、本町が掲げる多文化共生のまちの実現を目的とする。

2 業務委託の概要

- (1) 委託業務名：令和5年度 民族共生象徴空間（ウポポイ）PR事業業務委託
- (2) 実施場所：白老町の指定する場所
- (3) 委託期間：契約締結日から令和6年3月31日まで

3 業務の内容

- (1) 道外イベントの展開によるウポポイ及び白老町のファンづくり

本町の姉妹都市である仙台市のほか、東京都等の首都圏など、道外3ヵ所程度において、アイヌ古式舞踊等の披露など、アイヌ文化の魅力やウポポイの認知向上に繋がるイベントを実施するとともに、白老町のPRイベントを開催し、本町の地域資源や魅力等を発信することで、ウポポイ及び白老町のファンを創出すること。

併せて、PRイベントに必要な演者・スタッフ等の手配をすること。

なお、PRイベントの実施場所については、応募事業者の提案を基に白老町との協議のうえで、百貨店等との連携なども検討し決定すること。

- (2) ウポポイPR用ノベルティの作成

町内のアイヌ関係団体が開発した商品等を活用したノベルティグッズの検討を含め、PRイベント等において来場者へ配布できるノベルティグッズを複数種類作成すること。

4 業務処理にあたっての留意事項

- (1) 各業務のねらいを達成するため最適な事業計画を立てること。
- (2) 事業実施に必要な設備及び人員の確保（謝金、旅費の支払い、宿泊先の確保や交通チケットの手配などを含む）を行うこと。
- (3) 出演者、舞踊者等の選定は委託者と調整すること。

- (4) イベント等の会場は委託者と協議の上、決定すること。
- (5) 事業実施に必要な資材等の製作を行うこと。
- (6) 各事業の進行管理などの調整を図ること。
- (7) 白老町が現物支給する啓発品等の収受に関するを行うこと。
- (8) 道外でのPRイベントにおいて、ウポポイや白老町から提供する各種パンフレットや本業務において作成したノベルティをパンフレットバッグに入れて来場者へ速やかに配付できるよう、各PRイベントまでに準備し、会場にセットしておくこと。
(各PRイベントにおいて配付するセット数は、白老町が指定する。)

5 成果品

- (1) 業務報告書 5部
- (2) 作成した啓発資材等の電子データ(CD-R) 1枚
- (3) その他
 - ・その他の当該業務において作成した成果品については、その都度提出すること。
 - ・本委託業務における成果品(データ)の所有権及び著作権は白老町に帰属する。

6 適用基準等

- (1) この仕様書に定められていない事項については、下記に準拠する。
 - ① 白老町契約に関する規則
 - ② 関係法令、規程など
- (2) 業務遂行にあたっては特に定めのない事項、疑義が生じた事項については、その都度、白老町の指示を受けること。